

教育研究発表会

参加・視聴申込期間：令和6年4月22日(月)～6月28日(金)

R6：教育研究発表会テーマ

子どもを主語にする 学校教育の創造

ごあいさつ

うらかな春を迎えました。皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。

当島根県教育センター・島根県教育センター浜田教育センターが教育研究発表会を共同で開催するのは3回目となり、今年度もオンライン・オンデマンドでの配信となりました。

令和6年度の講演は、溝上慎一氏(学校法人桐蔭学園 理事長・桐蔭横浜大学 教授)を講師に開催いたします。多くの教職員の皆様にご視聴いただき、私共の研究研修の成果を教育実践の参考にしていただくとともに、ご意見やご感想を賜ることができれば幸いに存じます。

何かとご多用の折とは存じますが、多数ご参加・ご視聴くださいますようお願い申し上げます。

島根県教育センター 所長 大場 尚樹
(島根県教育センター浜田教育センター センター長)

内容及び配信期間・日時

《第1部》研究・研修成果発表【オンデマンド配信】

配信期間 令和6年5月10日(金)～6月28日(金)

指導主事の共同研究発表及び長期研修員の研修成果発表

《第2部》講演【オンライン・アーカイブ配信】

開催日時 令和6年5月18日(土) 13:30～15:50(予定)

アーカイブ配信期間 令和6年5月20日(月)～6月28日(金)

申込方法

(1) 島根県教育センターHPトップページより「参加・視聴申込はこちら」を選択してください。

(2) 必要事項を入力し、「送信」を選択してください。

(3) 参加・視聴申込期間 令和6年4月22日(月)～6月28日(金)

その他

(1) 配付資料は各自で会員ページからダウンロードしてください。

(2) 島根県公立学校教職員は、本発表会の視聴をもって、管理職セレクト研修及びフォローアップ研修2年目の校外自主研修とすることが可能です。

(3) アンケートフォームによる質問やご感想をいただきますようご協力をお願いします。

研究・研修成果発表

長期研修員研修報告

子ども一人一人がいきいきと学びに向かう姿を目指して～学級の担任がおこなう「読み書きのアセスメントや支援」において大切にしたいこと～

長期研修員(島セ) 須貝 菜津子

心をむける～子どもたちのことをわかるために心にとどめたいこと～

長期研修員(島セ) 青木 リリ子

幼小の架け橋期における感情に焦点化した一次支援の充実

長期研修員(浜セ) 太田 景子

児童の適応行動を増やすためのチームで取り組む支援の在り方

長期研修員(浜セ) 岡野 綾美

指導主事共同研究

島根の子どもの資質・能力を育む授業づくり～授業構想において大切にしたいポイントの検討～

島根県教育センター
企画・研修スタッフ

学びの変容を実現させる授業改善のための効果的なICT活用の推進についての一考察

島根県教育センター
研究・情報スタッフ

通常の学級における子どもたち一人一人の教育的ニーズに応えるために～生徒指導・教育相談と特別支援教育の視点を融合させて～

島根県教育センター
教育相談スタッフ

学校の自走をアシスト！自立した学習者を育てる校内支援プログラムの作成

浜田教育センター
研究・研修スタッフ

学校現場の「学級づくり」を支える教育センターの取組～シンプル・プログラムのスムーズな導入に向けて～

浜田教育センター
教育相談スタッフ

第1部 この1本の視聴が、あなたをアップデートするはず！ 選びきれない全9本です！

講演(13:30～15:50)

第2部

現行の学習指導要領、令和の日本型学校教育答申で提起された「主体的・対話的で深い学び」「個別最適な学び・協働的な学び」は、教育活動を子ども主体の学習へと、子どもを主語にして学びを説くものだと思われがち。しかし、これは理想論を謳っているものではない。大きな時代の流れで見れば、将来の大人に向けた基礎的な知識・技能を、義務教育においてさえ十分に教えられなくなっている現状の裏返しである。子どもが自律的に学ぶ「学び方」を教えながら、知識や技能を習得させることが今の学校教育では求められている。

学校外での知識や情報へのアクセスは、ICT活用を通して格段に広がる。それが今すでに現代社会で起こっている姿である。政府内では次期指導要領に向けた審議がすでに始まっており、ウェルビーイング施策が加わってくる可能性がある。ウェルビーイングは、子どもが学校生活を含めて自身のライフをどのように満足して、幸せに過ごすかを、子ども自身が問う視座である。

私たち大人・教師は、もはや子どもたちの将来のすべてに関わることはできない。この限界を認識したとき、子どもに学習の権限を譲渡していかなければならない力学に気づいていくはずである。(溝上 慎一)

ウェルビーイングの実現と 令和の日本型学校教育がめざすもの ～ICT活用を手段に～

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

みぞ かみ しん いち

溝上 慎一

先生

